

函 企 交 事
令和6年(2024年)11月7日

報道機関各位

企業局交通部施設課長

「ササラ電車」試運転の実施に係る報道について（依頼）

平素より本市交通事業に対しましてご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、企業局交通部では、冬の風物詩である「ササラ電車」の試運転を実施いたしますので、取材方よろしくお願い申し上げます。

記

- 試運転日時 令和6年11月13日（水）
午前10時00分～説明開始
午前10時20分～駒場車庫を出庫
- 説明場所 函館市駒場町15番1号
函館市企業局交通部駒場車庫構内
- 試運転経路 駒場車庫前電停から五稜郭公園前電停を往復
- その他
 - 当日は、車両担当が説明いたしますので、取材の際は、管理庁舎1階へお越しください。
 - 当日は、2両の「ササラ電車」が試運転を行います。構内の撮影につきましては電車の外観のみとさせていただきます。なお、危険防止のため、試運転時における車内への乗り込みはご遠慮願います。

〒042-0935
函館市駒場町15番1号
函館市企業局交通部施設課 車両担当 佐々木
電 話：0138-52-1412
F A X：0138-32-1735

説明資料「ササラ電車」（除雪車）について

「ササラ電車」とは

除雪作業用電車のことで、正式にはブルーム式電動除雪車といい、車両の前部に取り付けられた「ササラ」と呼ばれる竹製のブルーム（箒（ほうき））を回転させて、軌道上を除雪します。

当局のササラ電車は、もともと東京市電気局（現在の東京都交通局）で使用されていた電動客車で、明治30年代に製造、大正6年に東京市電気局浜松工場で車体更新され「ヨヘ口形」として活躍しており、1934（昭和9）年の函館大火で焼失した車両を補うため、東京市電気局より中古電車として購入したものです。

その後、1937年（昭和12年）に函館水電でササラ電車に改造され、現在は3号車と4号車の2両が今日まで冬期間の除雪作業を担っております。

なお、ササラ電車は、当局と札幌市電でのみ走行しております。

【主要諸元】

全長8,700mm

全幅2,344mm

全高3,960mm

自重10.39t

台車型式 米国ブール21E-1

電動形式 鳥羽MT-60

【ササラについて】

プラスチックブラシに比べ、折れにくいいため札幌市でも使用しています。

1両には前後併せて900束のササラが使われており、1束のササラは約200本の細かく割った竹からできています。

【参 考】

★令和2年度 令和2年12月15日～令和3年2月3日まで出動

2両の除雪車で、のべ10日の出動 総走行距離 約222.997キロ

★令和3年度 令和3年12月13日～令和4年3月6日まで出動

2両の除雪車で、のべ13日の出動 総走行距離 約295.716キロ

★令和4年度 令和4年12月14日～令和5年2月2日まで出動

2両の除雪車で、のべ17日の出動 総走行距離 約603.090キロ

★令和5年度 令和5年12月17日～令和6年2月15日まで出動

2両の除雪車で、のべ4日の出動 総走行距離 約74.684キロ